2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　　システム・ロケーション株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　　2480　　ＵＲＬ　https://www.slc.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）千村　岳彦
問合せ先責任者　（役職名）取締役　経理・財務部門管掌　（氏名）井坂　俊達　　ＴＥＬ　03-6452-2864

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	869	0.8	315	△2.1	361	3.3	282	26.4
2026年３月期中間期	862	2.1	322	17.7	350	7.4	223	17.6

（注）包括利益　2027年３月期中間期　384百万円（23.6%）　2026年３月期中間期　311百万円（96.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	80.12	－
2026年３月期中間期	63.40	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	5,205	4,295	82.5	1,217.38
2026年３月期	4,900	4,044	82.5	1,146.39

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　4,295百万円　2026年３月期　4,044百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	38.00	38.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	38.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,770	2.1	619	2.5	664	3.9	465	56.6	131.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	3,570,000株	2026年３月期	3,570,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	41,914株	2026年３月期	41,914株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	3,528,086株	2026年３月期中間期	3,528,128株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や、今後の事業運営における内外の状況の変化により、実績はこれらの業績予想と大きく異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。上記業績予想に関する事項は、３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年4月1日～9月30日、以下「当期」）における当社関連市場である自動車産業におきましては、各メーカーの新型車発売効果、供給正常化効果、EV補助金効果等により、新車乗用車販売台数（登録車および軽乗用車の合計）が1,917千台（前年同期比5.4%増）となり、コロナ禍の2020年度以降では最も高い水準となりました。一方、新型車の発売が少なかった軽自動車につきましては、同2.5%減となっております。下期に向けましては、上期の伸びを支えた諸々の効果が薄れ、8月以降は増加率が縮小していることから、新規受注へ向けた各社の営業強化の動きが増加し、当社のソリューションへのニーズも高まると見込んでおります。

このような市場動向の下、当社は前期に引き続き、自動車販売事業者や自動車関連金融事業者などの取引先を中心に、商品およびソリューションの提供に積極的に取り組んでまいりました。リース関連事業者、中古車関連事業者等からの当社商品・ソリューションに対するニーズは根強く、「車種データベース」、「RV Doctor（車両の残価算出）」、「PV Doctor（車両の現在価値算出）」等の売上が着実に増加し、当社の事業基盤を支えております。一方、ディーラー向け商品である「CA Doctor」につきましては、販売事業者を取り巻く環境や販売スタイルの変化もあり、前年同期の水準を下回る状況が続いておりますが、商品力を強化した結果、お客様から良好な反応を得ており、具体的な商談が増加してきております。環境変化も追い風とし、今後の新規取引拡大に注力してまいります。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、869,620千円と前年同期を若干上回る水準となりました。引き続きリカーリングの性質を持つ売上が大半を占めており、ストック型売上として、フロー型ビジネスと比較して安定的に推移しております。営業利益につきましては、売上が微増となる中で、売上原価の低減（前年同期比2.7%減）があった一方で、新規事業など将来展開を見据えた研究開発費・調査費・人件費等による販管費の増加（同5.0%増）により、315,380千円（同2.1%減）となりました。経常利益は受取配当金の増加等により361,900千円（同3.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券として保有していたガレージバンク社の株式売却に伴う投資有価証券売却益を特別利益として計上したことにより、282,679千円（同26.4%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は2,898,106千円となり、前連結会計年度末に比べ161,724千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が87,808千円増加及び、有価証券が50,000千円増加したことによるものであります。固定資産は2,307,198千円となり、前連結会計年度末に比べ143,519千円増加いたしました。これは主に投資有価証券が210,791千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、5,205,304千円となり、前連結会計年度末に比べ305,243千円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は272,561千円となり、前連結会計年度末に比べ250千円増加いたしました。これは主に賞与引当金が16,054千円増加した一方、その他が15,861千円減少したことによるものであります。固定負債は637,714千円となり、前連結会計年度末に比べ54,536千円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が46,611千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、910,275千円となり、前連結会計年度末に比べ54,786千円増加いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は4,295,028千円となり、前連結会計年度末に比べ250,457千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益282,679千円を計上及び、その他有価証券評価差額金が104,279千円増加したものの、剰余金の配当が134,067千円発生したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は82.5%（前連結会計年度末は82.5%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前中間純利益の計上、法人税等の支払、有価証券及び投資有価証券の取得・償還・売却、並びに定期預金の預入・払戻等により、当中間連結会計期間末には931,911千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は282,061千円の収入（前年同期比21.5%減）となりました。

主なプラス要因は、税金等調整前中間純利益の計上422,917千円、顧客関連資産償却額の計上25,000千円、のれん償却額の計上10,551千円及び減価償却費の計上37,934千円であります。主なマイナス要因は、法人税等の支払150,569千円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は103,967千円の支出（前年同期比86.6%減）となりました。

主なプラス要因は、有価証券の償還による収入1,350,000千円及び定期預金の払戻による収入600,000千円であります。

主なマイナス要因は、有価証券の取得による支出1,400,000千円及び定期預金の預入による支出650,000千円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は133,591千円の支出（前年同期比0.1%減）となりました。

これは、配当金の支払133,591千円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期におきましては、2026年10月23日付「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載いたしました当期（2026年４月１日～2027年３月３１日）の業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表致します。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,350,980	1,438,788
売掛金	174,754	195,982
有価証券	1,150,000	1,200,000
棚卸資産	17	16
その他	60,698	63,458
貸倒引当金	△70	△140
流動資産合計	2,736,382	2,898,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	207,644	207,644
減価償却累計額	△94,892	△98,075
建物及び構築物（純額）	112,752	109,569
車両運搬具	9,849	9,849
減価償却累計額	△9,150	△9,266
車両運搬具（純額）	699	582
工具、器具及び備品	212,839	213,106
減価償却累計額	△151,450	△161,049
工具、器具及び備品（純額）	61,389	52,057
土地	167,756	167,756
有形固定資産合計	342,597	329,966
無形固定資産		
のれん	63,309	52,757
顧客関連資産	350,000	325,000
その他	97,721	76,597
無形固定資産合計	511,030	454,355
投資その他の資産		
投資有価証券	1,133,342	1,344,134
保険積立金	160,578	162,463
その他	25,436	25,585
貸倒引当金	△9,307	△9,307
投資その他の資産合計	1,310,049	1,522,875
固定資産合計	2,163,678	2,307,198
資産合計	4,900,060	5,205,304

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,858	18,648
未払法人税等	145,728	145,995
賞与引当金	29,364	45,419
その他	78,360	62,498
流動負債合計	272,311	272,561
固定負債		
役員退職慰労引当金	233,850	239,344
退職給付に係る負債	49,690	52,120
繰延税金負債	299,637	346,249
固定負債合計	583,178	637,714
負債合計	855,489	910,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	282,675	282,675
利益剰余金	3,261,638	3,410,250
自己株式	△18,864	△18,864
株主資本合計	3,625,449	3,774,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	412,430	516,710
為替換算調整勘定	6,691	4,257
その他の包括利益累計額合計	419,122	520,967
非支配株主持分	―	―
純資産合計	4,044,571	4,295,028
負債純資産合計	4,900,060	5,205,304

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	862,322	869,620
売上原価	170,971	166,344
売上総利益	691,350	703,276
販売費及び一般管理費	369,267	387,895
営業利益	322,082	315,380
営業外収益		
受取利息	2,793	7,947
受取配当金	19,732	23,849
為替差益	2,210	12,751
持分法による投資利益	682	313
その他	2,699	1,657
営業外収益合計	28,119	46,520
経常利益	350,202	361,900
特別利益		
投資有価証券売却益	－	61,016
特別利益合計	－	61,016
特別損失		
固定資産除却損	0	－
関係会社株式売却損	469	－
特別損失合計	469	－
税金等調整前中間純利益	349,732	422,917
法人税、住民税及び事業税	140,395	150,825
法人税等調整額	△13,478	△10,587
法人税等合計	126,917	140,238
中間純利益	222,815	282,679
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△855	－
親会社株主に帰属する中間純利益	223,670	282,679

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	222,815	282,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,722	104,279
為替換算調整勘定	2,559	△2,434
その他の包括利益合計	88,281	101,845
中間包括利益	311,096	384,524
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	309,385	384,524
非支配株主に係る中間包括利益	1,711	―

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	349,732	422,917
減価償却費	42,745	37,934
のれん償却額	10,551	10,551
顧客関連資産償却額	25,000	25,000
引当金の増減額（△は減少）	1,798	21,619
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1,950	2,430
受取利息及び受取配当金	△22,526	△31,796
持分法による投資損益（△は益）	△682	△313
売上債権の増減額（△は増加）	△6,603	△21,227
仕入債務の増減額（△は減少）	△8,047	△209
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△61,016
その他	8,138	△5,053
小計	402,055	400,834
利息及び配当金の受取額	22,526	31,796
法人税等の支払額	△65,050	△150,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	359,532	282,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600,000	△650,000
定期預金の払戻による収入	－	600,000
有形固定資産の取得による支出	△21,149	△9,644
無形固定資産の取得による支出	△4,674	△3,912
有価証券の取得による支出	△50,000	△1,400,000
有価証券の償還による収入	－	1,350,000
投資有価証券の取得による支出	△100,275	△100,023
投資有価証券の売却による収入	－	111,769
保険積立金の積立による支出	△2,105	△1,885
保険積立金の解約による収入	1,818	－
その他	－	△272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△776,385	△103,967
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△133,560	△133,591
自己株式の取得による支出	△205	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,765	△133,591
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	△2,222
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△550,577	42,279
現金及び現金同等物の期首残高	2,203,698	889,632
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,653,120	931,911

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。